

## ディボーション質問表



### 5日（月）ローマ人への手紙 9：1～5節 パウロの悲しみ

1. パウロは誰に対して、どのような悲しみや痛みを抱いていると書いていますか？ パウロのこの言葉を読んでどう思いますか？
2. イスラエル人の7つの特権が書かれています。それを書き出してみましょう。パウロはローマ3：1で「ユダヤ人のすぐれたところは、いったい何ですか。」と書いていますが、内容的にはそことつながっています。

### 6日（火）ローマ人への手紙 9：6～29節 神の主権による選び

1. イスラエルから出る者がみな、イスラエルなのではなく（6節）とありますが、この二つのイスラエルはどう違うのでしょうか（6～8節）？
2. ここで神様は、何に基づいて人を選ばれると語っておられるでしょうか（9～13節）？
3. パウロは14節と19節で二つの質問を想定し、それに対して答えています。それはどのような質問で、それに対してどのように答えているのでしょうか（14～29節）？

### 7日（水）ローマ人への手紙 9：30～10：13節 行いによる義か、信仰による義か

1. ここには、少数のイスラエル人しか真理を受け入れなかった、人間の側から見た理由が書かれています。それは何でしょうか（9：30～33節）？
2. なぜパウロは、イスラエルが救われるよう祈ったのでしょうか？ なぜイスラエルは神様のために力強く働いたにもかかわらず、真理に達しなかったのでしょうか（10：1～3節）？
3. 3～5節は「律法による義」、6～11節は「信仰による義」についてパウロが説明しています。そして信仰による義の原則は、ユダヤ人とギリシャ人との区別はないと語っています（12節）。

### 8日（木）ローマ人への手紙 10：14～21節 神による救いの呼びかけ

1. 「信仰は聞くことから始まり」（17節）とはどういうことか考えてみましょう。また何を聞くのでしょうか？ そして聞くためには何が必要でしょうか？
2. 19～20節に出てくる「民でない者」「無知な国民」「わたしを求めない者」「わたしを尋ねない者」とは誰のことでしょうか？ また彼らの役割は何だと言われていますか？

### 9日（金）ローマ人への手紙 11：1～10節 恵みによる残りの民

1. 「神はご自分の民を退けてしまわれたのですか。」（1節）という問いは、10：21節の内容を受けてのもので、パウロはそれに対して、「絶対にそんなことはありません。」と語り、その具体例として二人の人物をあげて説明しています。その二人とは誰でしょうか？
2. 5～10節は現代への適用としてパウロが語っています。ここで語られている選びの原則は何でしょうか？

### 10日（土）ローマ人への手紙 11：11～36節 イスラエルの救いの希望

1. イスラエル人の拒絶の背後にある神の計画は何ですか（11～16節）？
2. 20節で「高ぶらないで、かえって恐れなさい」と語っています。なぜでしょう（20～24節）。
3. すべての国民が救いを信じたなら、イスラエル人に何が起こりますか（25～32節）？ パウロによると、神のさばきと道は何に似ていますか（33～36節）？

### 11日（日）ローマ9：1～11：36節 神の選び

1. 9：1～29はイスラエルの選び、9：30～10：21はイスラエルの不信仰、11章はイスラエルの救いです。